

関西国際大学と大手前大学で企業の代表者による出前授業を開催



大手前大学
12月3日(日)大手前大学さくら夙川キャンパスで株式会社代表取締役社長 定本康敬氏を講師に2回目の出前授業を行いました。自社で実践している事例を基に「わくわく働くこと」について具体的な説明がされました。入社1年目の社員と内定者(両者とも大手前大学卒・在籍)とのディスカッションやクイズもあり、分かり易く楽しい講義となりました。



関西国際大学
10月7日(金)関西国際大学尼崎キャンパスで日本テクノロジーソリューションズ株式会社代表取締役社長 岡田耕治氏を講師に出前授業を行いました。主題は「愉快に働くとは」で副題として「成長への道筋」で講義が行われました。岡田氏の絶妙な語りで自社の事業内容等の説明と併せて、大が行く逆の道を進む」等示唆に富んだ講義となりました。

外資系3社の若手社員による「グローバル人材育成セミナー」に69名の学生が参加



12月15日(金)にP&Gジャパン本社のカフェテリアを会場に兵庫県と大学コンソーシアムひょうご神戸が主催して「グローバル人材育成セミナー」を開催しました。外資系企業としてP&Gジャパン(株)、日本イーライリリー(株)、キヤタピラー(株)の3社が参加し、最初に3社の社員がそれぞれ企業の歴史や概要と自身の経歴や入社に至った経緯を紹介しました。その後、①入社前のイメージとのギャップ、②楽しい(エキサイティング)なこと、③一番チャレンジングなこと等の質問にユーモアを交え答えていました。

8大学から一回生、二回生を中心に69名の参加があり、熱心にメモを取ると共にプレゼンターに「大学での自分の専門と異なる分野で働く」と決めたのはなぜか?」等の鋭い質問をしていました。ネットワーキング(交流会)では多くの学生が、企業からの参加者15名と行政・大学関係者からの参加者15名に対し積極的な質問を行い活気あふれるセミナーとなりました。

世界で勝負できる人間になるには?

平成28年度「ひょうご留学生インターンシップ」報告会を開催

第二部の情報交換会では企業大学、行政からの参加者が車座を作り「グローバル人材育成に向けて、企業・大学・行政が協働で出来ること」をテーマに留学生を採用する当たり、様々な要件について本音で意見交換が行われました。第三部の「修了パーティー」では、参加者全員がリラックスした雰囲気の中で企業と学生、学生と学生企業と企業など様々な組み合わせで交流が行われました。



10月15日(土)兵庫国際交流会館で平成28年度「ひょうご留学生インターンシップ」の締めくくりの行事である報告会を開催しました。参加者は実習生54名、受入企業20社36名、大学12校19名、それ以外の関係者も参加を頂き合計142名となりました。第一部の「報告会」では出席した留学生全員が実習を通じて学んだことを約2分の持ち時間で真剣且つ心を込めて報告をしました。特にテーマ型の発表では個性あるパワーポイントを作成し実習の成果を発表しました。

留学生54名を中心に142名が参加

日本で初めて開催された「模擬国連世界大会」に加盟校より27名が参加



神戸市外国語大学と全米学生会議連盟が主催する「模擬国連世界大会」が11月23日から26日まで神戸市外国語大学のキャンパスと神戸国際会議場、神戸市会本会議場で開催されました。この「模擬国連世界大会」は国連が公式に支援する世界最大級の模擬国連活動で、毎年春にはアメリカの国連本部の施設で開催されますが、秋には世界の主要な大学で開催されています。日本での開催は初めてです。大会は世界各国から参加した学生が自国には関係なく割り当てられた国を代表する外交官の立場で国際社会が直面する課題について議論し最終的には決議案を作成・発表します。全て英語で行われますが、語学能力だけでなく、国際問題や、担当国の置かれた状況についての深い理解も求められます。大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校から神戸市外国語大学22名、関西学院大学・神戸大学・兵庫県立大学合わせて5名、総勢27名が参加しました。学生は決議案を自ら考える方向に導くため、合同会議時だけでなく個々の接触を通じて議論・説得を精力的に行い、オーストラリアを担当したコンソーシアムのチームが「Distinguished Delegation賞(優秀賞)」を受賞しました。

☆☆☆ ボランティア活動報告 ☆☆☆

学生ボランティア養成プログラム2016 学生企画が形に!



Partnershipアウトを丹波市市島で実施
「学生ボランティア養成プログラム2016」(日本財団学生ボランティアセンター協働プログラム)の参加学生による、学生企画「丹波×神戸ええとこ発信バスツアー」が12月10日(土)〜11日(日)の2日間行われました。2014年丹波豪雨災害から2年半が経過、災害復興に取り組み丹波市市島町を再訪。前回(7月)の被災地訪問の際に地元の方に提案、支持された学生企画をその後、形にしました。大学生(8大学11名)と社会人となった昨年の修了生2名に加えて、三田市と地元丹波市の高校生7名が参加。次代を担う高校生と一緒に学びながら、愉快に過ごすことができました。1日目は被災地ツアーと農業体験、収穫した地元食材を使い夕食作りも行いました。2日目は済納寺、山名酒造、いちじま丹波太郎を訪問。災害復興に取り組み丹波の今とその魅力について、情報発信すべく、全員でグループワークを行いました。その成果は今後発表する予定です。

平成29年1月・2月・3月のイベント紹介

月/日	イベント名	場所
1月 7日 (土)	キャリア100人会議 (学生)	兵庫国際交流会館
1月 8日 (日)	留学生のOB・OGを囲む「車座懇談会」	兵庫国際交流会館
1月13日 (金)	教職員向けセミナー・情報交換会	
1月27日 (土)	キックオフシンポジウム①「留学交流を通じた多文化共生」	兵庫国際交流会館
2月14日 (火)	兵庫県優良企業訪問 播磨方面バスツアー (教職員、学生)	西脇市、高砂市
2月18日 (土)	合同模擬グループディスカッション (学生)	兵庫国際交流会館
2月25日 (土)	就活交流会 (学生)	神戸市産業振興センター
2月25日 (土)	キックオフシンポジウム②「多文化共生と防災・減災」(仮)	兵庫国際交流会館
3月25日 (土)	兵庫県中小企業家同友会加盟企業による合同企業説明会	サンボーホール

735人の親子がキッズフェスティバル2016に集う

キッズフェスティバルは学生自身がイベントの企画立案や運営等のマネジメントを行うことにより、社会から求められている行動力、企画力、想像力、運営力を実践を通じて育成することも目的のひとつとしています。準備も7月から始まり、学生実行員会の下、緻密な計画と会場の事前確認等を行うことで安全で楽しいイベントにすることが出来ました。



11月27日(日)神戸市中央区の「こべこランド」(神戸市総合児童センター)で、キッズフェスティバル2016を開催しました。7大学より20ブースの出展があり、朝から雨模様でしたが午前部の部、午後の部合わせて子ども432人おとな303人、合計735名が集い楽しい一日を過ごしました。例えば、工作コーナーでは松ぼっくりなどの季節感のある材料を使って小さなツリーを作ったり子どもだけでなくおとなも楽しめるイベントとなりました。

こべこランドに子ども432人おとな303人が集う